



WOOD CLEANBURN STOVE

Installation and Operating Instructions

取扱説明書

ASPECT 8

仕様表

	ASPECT 8
	ウッド燃料タイプ
本体寸法	W617mm × D433mm × H873mm
本体重量	141kg(ログボックスを含む)
本体材質	鋼板・鋳鉄
最大出力	11kw(9,460kcal/h)
最少出力	6kw(5,160kcal/h)
燃焼方式	Tripleburn®
燃焼効率	76.0% (木質燃料使用時)
CO排出量	0.06% (酸素13%時)
排気温度	290°C
排ガス質量流	7.3g/s
準拠規格	ecodesign ready / ecodesign approved / clearSkies / Defra Approved
推奨薪長	350-450mm
煙突口元径	5in φ125mm
煙突方向	上方

はじめに

この度は、ハンターストープ製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
この取扱説明書では「アспект 8」に関する使用方法とご使用上の注意事項が記載されています。
本機の機能を十分に発揮させる為、またお客様に安全にご使用いただく為にもご使用前に良くお読み下さい。尚、本取扱説明書は大切に保管下さいますようお願い申し上げます。

目次

はじめに	1
目次	1
安全上のご注意	2～3
各部名称	4～5
ご使用の説明	6
日常のメンテナンス	7
部品表	8～9

安全上のご注意

お客様、及び他の人への危害や損害を防ぐ為に、安全上のご注意をよくお読みになり正しくお使い頂きますようお願い申し上げます。



警告 警告事項を厳守しないと死亡や重症に至る重大な事故へとつながる危険があります



注意 注意事項を厳守しないと怪我、または製品に損傷を与える危険があります



警告

< ! >ハンターストーブ製品の設置及び煙突取付には法令、及び各都道府県や市町村自治体の条例が制定されています。設置にはこの事を十分に理解した上で行ってください。

< ! >ガソリン、灯油、アルコール、ビニール、プラスチック、ゴム、発泡スチロール、化学塗料、合成接着剤を使用した木材、防腐材を使用した木材は絶対に燃やさないで下さい。また本製品を焼却炉として使用しないで下さい。有毒ガスを発生させる原因になり、本体及び煙突を損傷させる恐れがあります。

< ! >ストーブ燃焼中に本体の周辺にはガソリン、灯油、アルコール、スプレー缶等の引火の危険があるものは絶対に置かないで下さい。火災及び爆発の原因となる恐れがあります。

< ! >ストーブ燃焼中に本体及び煙突周辺には引火性のある紙類、衣類などの可燃物は置かないで下さい。火災の原因となる恐れがあります。

< ! >ストーブ本体及び煙突の改造は絶対にしないで下さい。火災などの恐れがあります。また本体及び煙突の性能を損なう危険があります。

< ! >ストーブを燃焼させる際は換気口より十分な給気を行ってください。室内の空気が不足し、酸欠状態になる危険があります。また煙や炎が室内へ戻る恐れがあります。

< ! >燃焼中にドアのガラスにヒビや破損が生じた場合は直ちに使用を中止し、修理が完了するまでご使用にならないで下さい。

< ! >灰は必ず完全に鎮火してから不燃性の容器に入れ、フタをして可燃物のない場所に保管し、各市町村の指示に従って廃棄して下さい。（灰の完全鎮火には長時間を要します）

< ! >本体及び煙突のメンテナンスはご使用者様の安全を守るためにも1年に1回以上の清掃及び点検を行ってください。



注意

< ! > 燃焼中及び鎮火後、しばらくはストーブ本体及び煙突が高温になっています。火傷の原因になりますので素手で直接触れないようにしてください。

< ! > ストーブのご使用中にエア調整、薪の投入などで本体に接触する場合は必ず保護手袋をご利用下さい。火傷の原因となります。尚、本体の高温時にビニール系及びナイロン系の防護具を使用すると素材が溶け本体に付着する場合があります。

< ! > 本ストーブは輻射式暖房です。輻射熱を皮膚に長時間あてますと低温火傷の危険があります。特に乳児やお年寄り、身体の不自由な方が近くにいるときは十分に気を付けてご利用下さい。

< ! > 燃料の超過投入、燃焼空気の過剰導入はストーブ本体及び煙突が超高温になる事があります。超高温な状態は本体及び煙突への破損や劣化を早める場合があります。また超高温で使用する事で思わぬ火災を招く危険があります。

< ! > 薪燃料をご利用される場合は含水量20%未満まで乾燥させたものをご利用下さい。含水量が多いことで燃焼温度が上がらず、煤やタールを多く発生させる原因になります。また煤やタールが煙突内に付着し、煙道火災を招く恐れがあります。

< ! > 薪ストーブご利用シーズン前に必ず煙突内及びトップに排煙の妨げになるようなもの（鳥の巣、枝、落ち葉等）がない事を確認してからご利用下さい。そのまま使用すると火災の危険があります。

< ! > 灰の除去は完全に鎮火し、本体及び灰が冷めている事を確認してから行ってください。火傷の原因になります。

< ! > 耐熱ガラスの清掃は本体が完全に冷めている状態の時に行ってください。火傷やガラスの破損の原因になります。

< ! > ガasket等の交換は本体が完全に冷めている状態の時に行ってください。火傷や不具合が生じる原因になります。

< ! > 燃焼時に薪を追加する際は必ず空気調整を全開にしてから扉を開けてください。給気が少ない状態時に扉を開けると大量給気により炎が飛び出す危険があります。（バックドラフト）

< ! > ログボックス内に薪を入れる場合は、熱がこもらないように、ログボックスの上部を2 cm以上は空けてご使用ください。

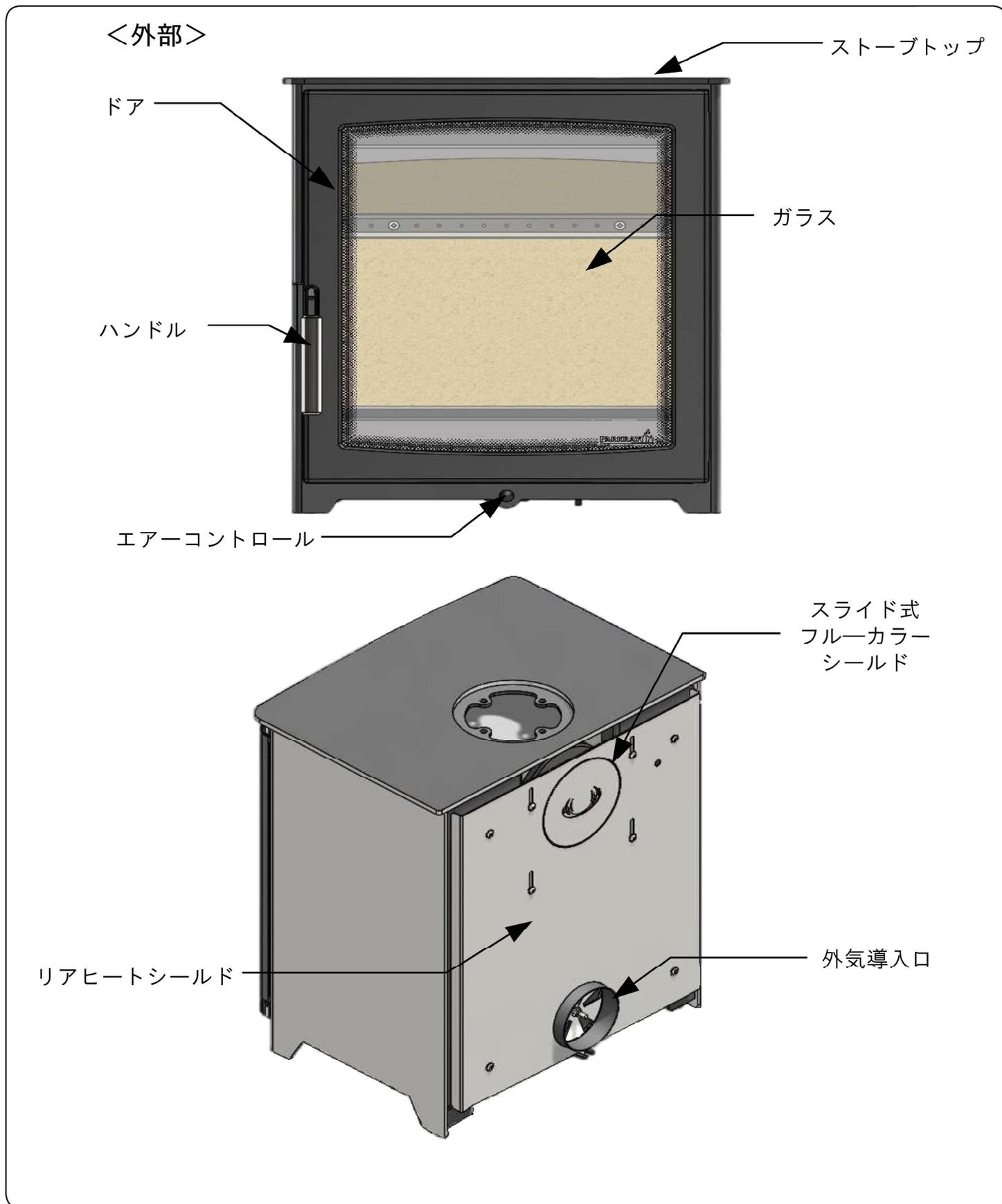
大きな地震が発生した場合は揺れがおさまるまで慌てずに、ご自身の安全を守ることに努めてください。揺れがおさまりましたら、本体の燃焼室で燃えている燃料に乾いた大量の砂を被せて下さい。給気を失うことで炎は鎮火に進みます。尚、燃焼中に水などをかける事で本体を破損させるだけでなく、大きな災害につながる恐れがあります。使用の再開については弊社または販売店へご相談下さい。

<<ハンターストーブグループ日本総輸入元>>

株式会社 エイコーテレス

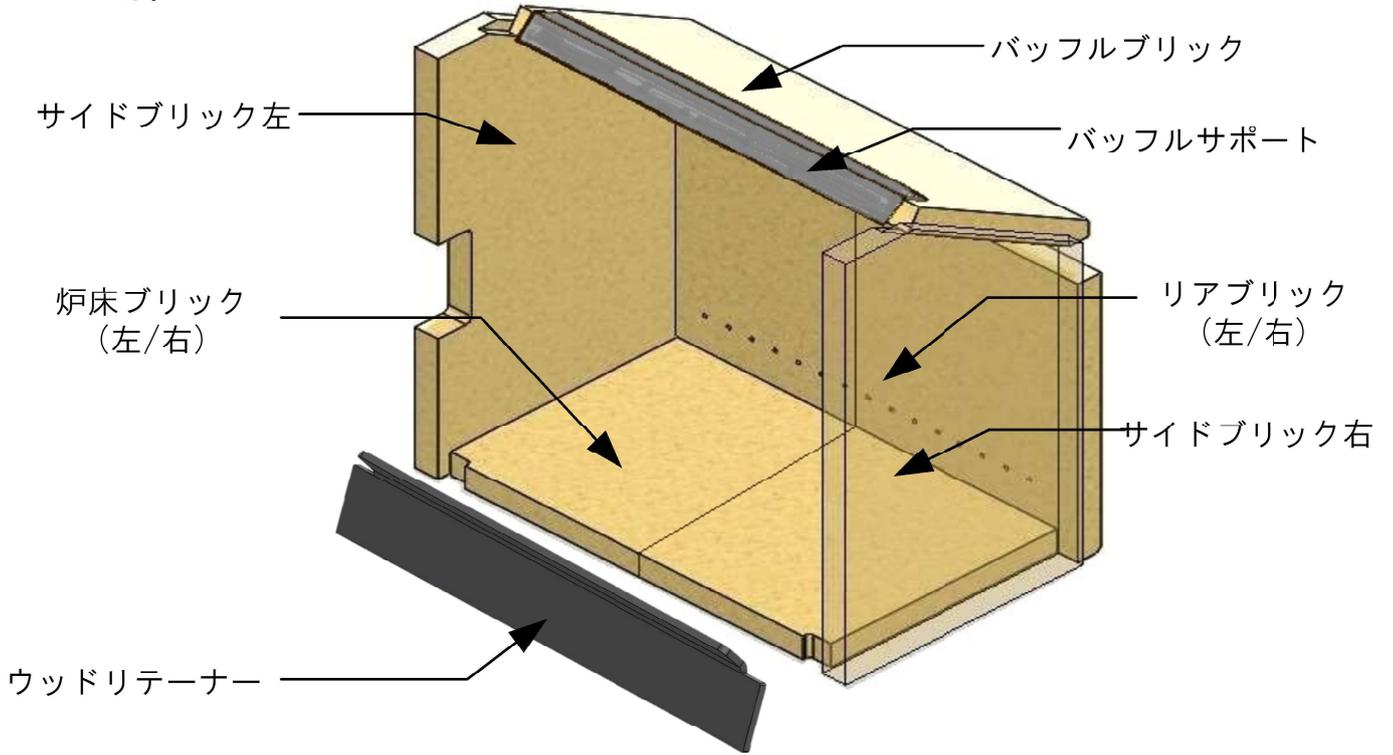
049-272-7720

各部名称

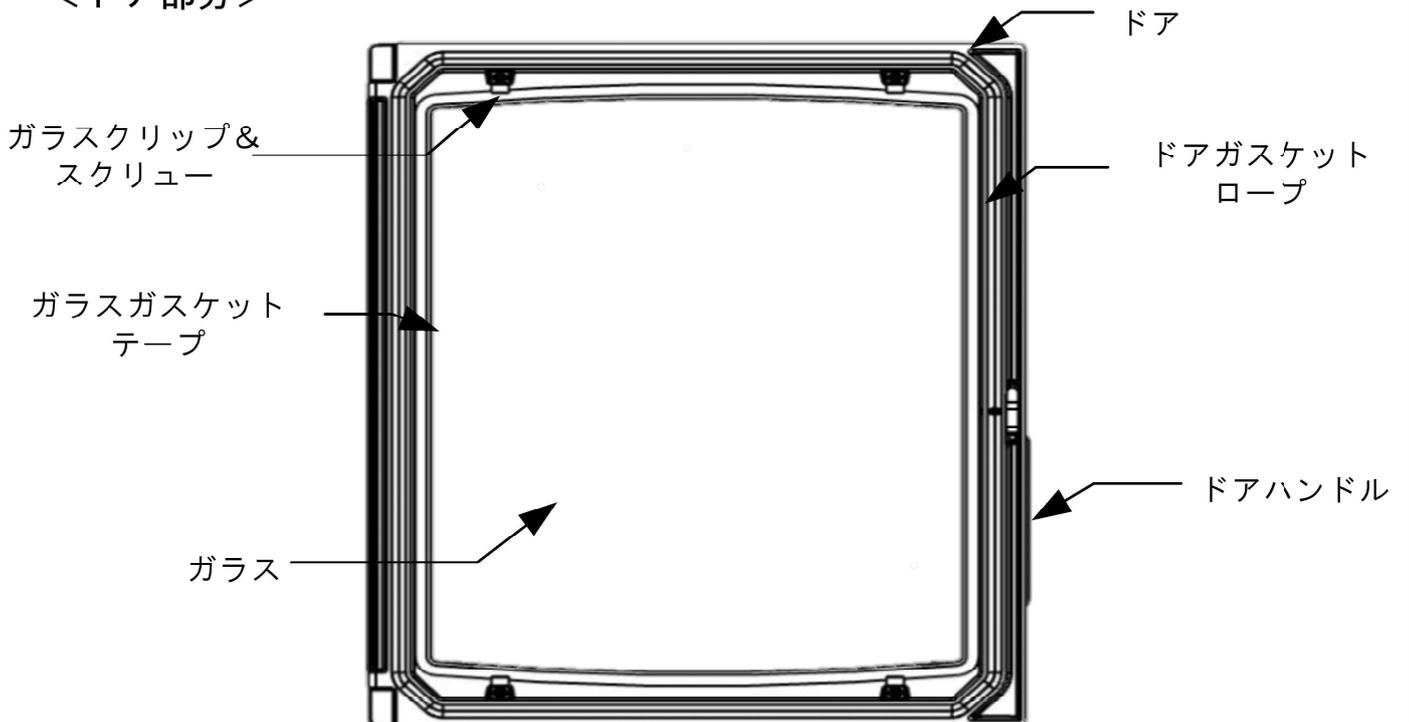


各部名称②

<内部>



<ドア部分>



ご使用の説明

＜薪燃料使用時の着火から通常運転までの手順＞

空気調整ロッドを全開位置にします。(止まるまで手前に引く)

良く乾燥した太めの薪、その上に交差するように細めの薪をのせます。木と木の間は空気が通りやすいように隙間をつくりません。

細めの薪の上に着火剤を1～2個置き、その上にさらに細かい薪を2～4本程載せ、火を付けたらドアを閉めます。

※慣らし運転(塗料硬化の為)

最初の運転から2～3回は、慣らし運転の為、薪を足さずに上記の焚き方を繰り返してください。

その後は、以下の通りに焚いて下さい。

熾きが出来たら薪を追加していきます。追加の薪は、約6cm角のものを2本ほど使用することをお勧めします。このとき、空気調整は全開にします。また、ドアを開ける際は少しの隙間を空け10～20秒ほどそのままにし、その後ゆっくりとドアを開けていきます。

※ドアを素早く開けると、煙が室内に引き込まれる可能性があります。

※必ずストーブグローブを使用してください。

全体に火力が強くなったら、空気調整ロッドを押し込み空気量を調整します。※必ずストーブグローブを使用してください。

完全に鎮火してしまった状態から着火する場合は手順の最初からやり直してください。

※塗料が硬化する際、煙や臭いが出る場合があります。

換気の為、短時間窓を開けておくことをお勧めします。

また、痕が残ってしまうため、塗料が硬化する前にストーブトップに物を置かないでください。

空気調整



日常のメンテナンスについて

●本体について●

日常メンテナンスでは、良く絞った布でホコリなどを拭きとって下さい。また薪ストーブ本体には錆を防ぐ耐熱塗料が施されています。使用頻度により剥離する場合があります。そのような場合は専用の耐熱塗料で補修して下さい。尚、塗料には有毒なガスが含まれていますので良く換気をして行ってください。

※完全に鎮火した状態の時に行ってください。

●錆（さび）について●

鉄製の薪ストーブは設置環境により錆が発生する場合があります。錆が発生した場合はサンドペーパー等で錆を落とし、専用の耐熱塗料で補修して下さい。尚、シーズンオフ中の燃焼室内の錆がひどく目立つ場合はオリブオイル等を塗っておくと錆を防ぐことができます。

●ガラスについて●

べっ甲色に付いた煤は、ストーブを一定時間高温にする事で白色化し、本体が冷却している時に柔らかい布で簡単に拭き取れます。急いで落としたいときは本体を一度冷却し、専用のガラスクリーナーと柔らかい布で拭き落としてください。高温時には火傷の原因、ガラスの破損の危険性があるので絶対に行わないで下さい。

アルカリ性、又は酸性の含有量が高いものは使用しないでください。

●灰について●

除去作業では薪ストーブ本体が完全に冷却され、完全に鎮火してから行ってください。

また、リアブリック下部の空気吹き出し口が灰で隠れない様にご注意ください。

●ブリックについて●

水分の多い薪を利用し、給気も絞り気味でご使用された場合にブリックが黒褐色になることがあります。一度、高温で焚くことで煤は全て燃えてしまいます。大量に煤が付着しているようなら本体から外し、柔らかいブラシで落として下さい。尚、ブリックは衝撃に弱く、落としたり、突起物を当てる事で破損します。取扱いには十分に気を付けてください。

●煙突について●

水分の多い薪を利用し、給気も絞り気味でご使用された場合に煙突に大量の煤やタールが付着することがあります。このままでのご利用は煙道火災の原因ともなりますので、煙突内の清掃を行ってください。

また、煤は冷却される事で凝固し、可燃物となります。特に、煙突のトップ及び鳥の侵入を防ぐ防鳥網に多量についていることが多いです。尚、高所での作業となりますので安全対策をしっかりと行って作業をして下さい。高所に不安がある方は専門店に依頼する事をお勧めします。

部品表

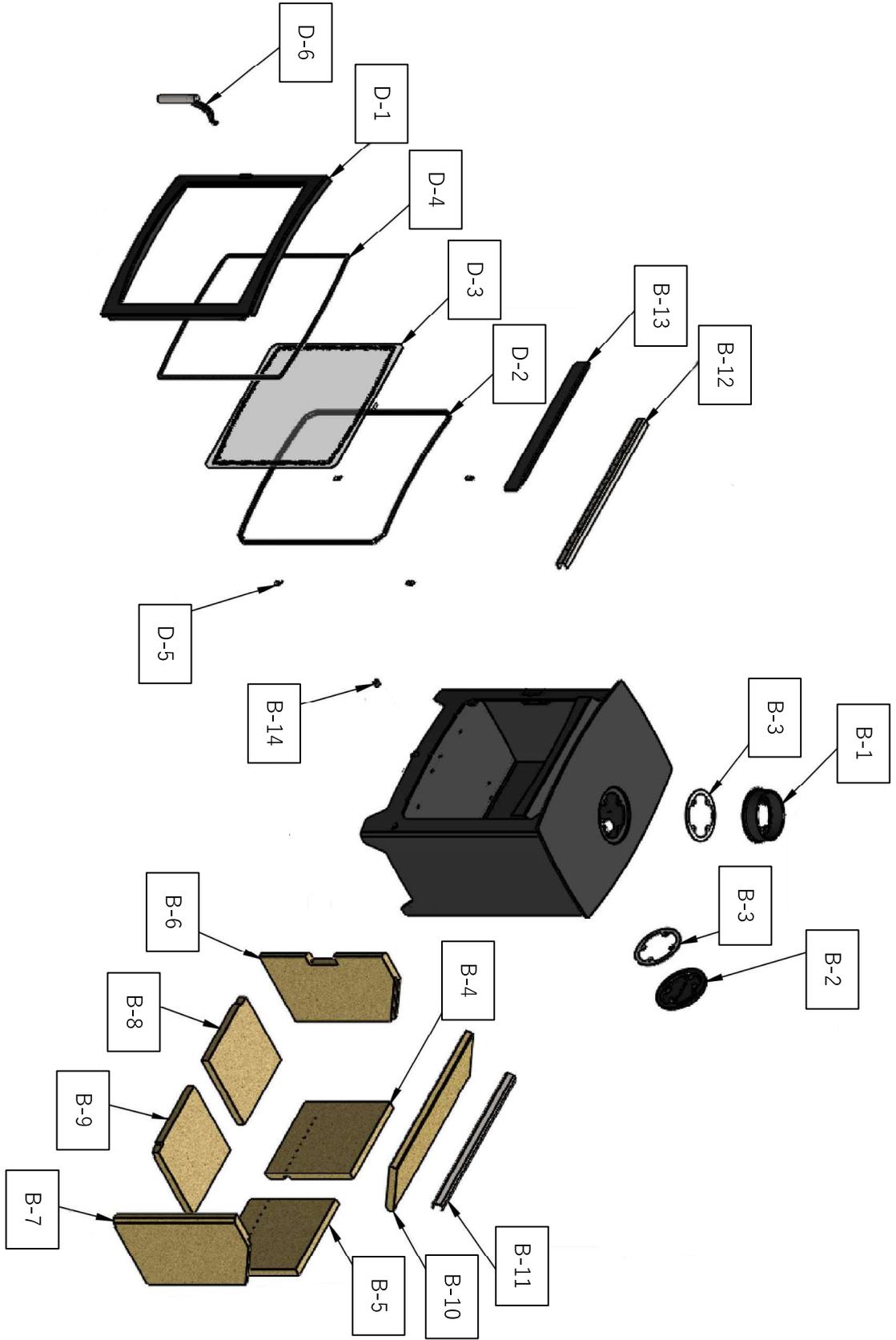
ASPECT 8

部位	製品No	製品コード	製品名
ドアコンポーネント	D-1	DCAS08	ドア
	D-2	SCPA8	ドアガasketローブφ15×2020mm
	D-3	ECIS08004	ガラス
	D-4	FGTE0412	ガラスガasket1850mm
	D-5	HHR08164S	ガラスクリップ&スクリュー(各1つ)
	D-6	DHAPASS	ハンドル
本体	B-1	HCE06062	フルーカラー
	B-2	CH05011	フルーカバー
	B-3	CH05042	フルーカラーガasket
	B-4	ASPS08015L	ASPECT8用リアブリック 左
	B-5	ASPS08015R	ASPECT8用リアブリック 右
	B-6	ASPS08016	ASPECT8用サイドブリック 左
	B-7	ASPS08017	ASPECT8用サイドブリック 右
	B-8	ASPS08018L	ASPECT8用炉床ブリック 左
	B-9	ASPS08018R	ASPECT8用炉床ブリック 右
	B-10	ASPS08019	ASPECT8用バツフルブリック
	B-11	ASPS08035	ASPECT8用バツフルエッジサポート
	B-12	ASPS08011	ASPECT8用ターボバー
	B-13	ASPS08012	ASPECT8用ウッドリテーナー
	B-14	HCE06059MB	エアスライダーノブ
オプション	O-1	ADP1	異径アダプタータイプ1 (段付き)
	O-2	ADP2	異径アダプタータイプ2 (ストレートタイプ)
	O-3	HT-605SBA	ハンターストーブ共通耐熱塗料

※仕様等の変更に伴い販売価格は予告なしに変更する場合があります。

※スペアパーツの交換は必ずハンターストーブ純正部品をお使い下さい。
純正部品以外でのご利用で本体に破損が生じた場合、一切の責任は負いかねます。
詳しくは弊社または販売店にお問合せ下さい。

※1 純正品はφ12mmですが交換の際はφ15.9mmのものをご使用ください。
詳しくは弊社または販売店までお問い合わせ下さい。





hunterstoves

G R O U P

ハンターストーブグループ 日本総輸入元
株式会社エイコーテレス
〒350-2223 埼玉県鶴ヶ島市高倉1241-9
TEL 049-272-7720 FAX 049-272-7765
<https://hunterstoves.jp>